

## 様式第3号(第12条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度吉川市第1回下水道事業審議会
開 催 日 時	令和2年 8月27日(木) 午前10時00分から 午前11時45分まで
開 催 場 所	吉川市役所 203会議室
出席委員(者)氏名	菊池 明敏委員 小山 修平委員 伊藤 正勝委員 大泉 日出夫委員 飯塚 貴利委員 中島 のり子委員 戸張 加代子委員 阿部 照義委員 佐々木 節子委員 中島 隆一委員 大矢 芳樹委員
欠席委員(者)氏名	無
担当課職員職氏名	河川下水道課 課長 多田 文武 課長補佐兼下水道係長 曾我 幸央
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	会議次第 1. 会長・副会長選出について 2. 吉川市下水道事業の概要 3. 経営戦略の必要性と策定方針
非公開の理由 (会議を非公開にした 場合)	
傍聴者の数	無
会議資料の名称	令和2年度第1回吉川市下水道事業運営審議会資料
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	(会長・副会長の選出について) 吉川市下水道事業審議会条例第5条では、会長及び副会長を互選で選出するとなっているが、いかがか。
事務局	(「事務局一任」の声あり) 事務局一任との声があったので、会長を菊池委員に副会長を小山委員にお願いしたいと思うが、いかがか。
	(「異議なし」の声あり) 会長を菊池明敏委員、副会長を小山修平委員とする。
	(吉川市下水道事業の概要について) 事務局より「吉川市下水道事業の概要」を説明
大矢委員	管渠の損耗状況の調査はされているか。
事務局	平成29年度以来調査ができていない。ストックマネジメントのため、今後行う必要があると考えている。
菊池会長	調査に費用を要するが、適切な投資計画のためには調査を実施することが望ましい。また有収率について過去からの推移を把握することを希望したい。
伊藤委員	用水と下水道の費用負担関係等、棲み分けはどうなっているのか。また、水道のように石綿管対策は必要でないのか。
事務局	用水は下水道とは別所管である。また、下水道において石綿管は使用しておらず対策は必要としない。ただし耐震化は今後検討していく。
菊池会長	全国的に下水道の老朽化問題が顕在化している。吉川市においても総事業費累計額同様の多額の投資が今後必要になってくるだろう。また、人口が増えているにもかかわらず、水量が横ばいのため、今後収益が逡減することが懸念される。適切な経営戦略策定が必要である。

	<p>(経営戦略の策定方針について)</p> <p>事務局より「経営戦略の策定方針」について説明</p>
小山副会長	<p>設備投資を要する下水管を網羅的に把握されているか。把握できていない他団体もあると聞いている。</p>
事務局	<p>下水道台帳に基づき把握している。</p>
大矢委員	<p>県に対する流域下水の建設負担金の費用低減をする工夫はできないか。</p>
事務局	<p>構成団体と共同して提言することが考えられるが、経営戦略の策定及び本会議では具体的な低減案の模索は想定していない。</p>
飯塚委員	<p>耐用年数は50年を想定されているのか。継続的な事業運営を念頭にすると、もっとシビアな耐用年数で経営戦略を策定した方が良いのではないか。</p>
菊池会長	<p>対象資産によって耐用年数が異なるが、推計にあたっては一般的な耐用年数を用いて行い、実行時に優先順位に基づいて更新対象資産を決定することになると考えられる。</p>
伊藤委員	<p>下水道のインフラ基盤は出来ていても活用できていない(接続率が悪い)ということは問題にならないか。</p>
菊池会長	<p>100%を目指すのは難しく、吉川市の水洗化率96.3%はかなり高いものとする。</p>